

中学校教科等研修講座(社会科)

教科等指導員 天王寺川中学校 教諭 粟生 桂治

担当指導主事：上野 みづほ

キーワード：自ら見つけ、考え、学ぶ喜びを育む授業

1 実施概要

実施月日	講師等	場所・形態	演題（またはテーマ）
1月24日(火)	天王寺川中学校 粟生 桂治 教諭	総合教育センター 講義・実践発表	「社会科におけるICT活用のポイントについて」

2 主な内容

「社会科におけるICT活用のポイントについて」

今回の研修講座では、事前に各校にアンケートをとった。内容は、各校のICTの活用状況と具体的な活用方法、活用の場面、ICTの活用で困っていることなどである。それを元に、自校のICT活用の状況や活用方法などについて各校から発表し、生徒の興味・関心を高めたり、気づきを促すことができる技法について参加者全員で考えた。また、講師から、準備に時間をかけずに身近な教材や機器を使い、工夫をすることで誰でも簡単にICTの活用に取り組めることを伝えた。



3 成果と課題

(1) 成果

身近な用具を使うことで準備に時間をかけずに教材の見せ方を工夫できることを学んだ。また、具体的な取組内容を発表し合うことで、ICTの活用を考えている教員にとって参考になることが多く、有意義な研修となった。参加者からは様々な意見が出され、その意見をまとめると、社会科では、板書と併用して拡大した資料の提示や発問・指示の掲示をおこなったり、動画や音声の視聴をしたりすることが効果的であることが確認された。また、効率の良い準備方法や機器の操作などの技術面についての質疑応答も行われた。その他、各校のICTの活用状況や活用にあたっての工夫を知ることができ、授業づくりの参考となった。また、これからICTの活用頻度を増やしたり、教材提示の仕方の工夫を考えたりしている教員にとっても、様々な事例があり、工夫についてのアイデアを得られる研修会となった。

(2) 課題

ICTの活用については、使う素材や場面等を考えなければ、まとまりのない、ただ機器を使っているだけで学習効果が何も得られないものになってしまう。そうならないよう、ある程度継続して活用し、機器の操作などに慣れることが必要である。そのためには、各教員が様々な場面で積極的にICTを導入する必要がある。しかし、教員によって使用条件が大きく異なるため、授業の内容にも差が出るのが考えられる。今後は、授業研究を増やし、市内の社会科教員の授業力を向上させることが必要である。また、共同で教材研究をすすめる場の設定や教材の共有化を図るなどの工夫も必要である。